

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	3年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ			担当教員	朝日山 一男		
授業の方法	講義、演習			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	臨床で遭遇すると思われる主症候に対して、東洋医学的な考え方に基づいて適切な診察・施術ができるための知識を学ぶ。						
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 4. 東洋医学の自然哲学・健康観・病理観 5. 東洋療法における主要疾患の症候・治療の概要(現代医学的・東洋医学的)						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	ガイダンス		1	第2章治療各論3)顔面麻痺		
	2	人体のみかた・治法		2	第2章治療各論4)歯痛		
	3	治法		3	第2章治療各論5)眼精疲労		
	4	東洋医学的治療		4	第2章治療各論6)鼻閉・鼻汁		
	5	第1章治療総論. 東洋医学的な考え方		5	第2章治療各論8)めまい		
	6	第1章治療総論. 東洋医学的な考え方		6	第2章治療各論9)耳鳴り・難聴		
	7	第5章弁証論治 気血津液弁証 概要・気		7	第2章治療各論10)咳嗽		
	8	第5章弁証論治 気血津液弁証 血・津液		8	第2章治療各論19)肩こり		
	9	第5章弁証論治 臓腑弁証、肝・胆		9	第2章治療各論23)腰下肢痛		
	10	第5章弁証論治 臓腑弁証、心・小腸		10	第2章治療各論24)膝痛		
	11	第5章弁証論治 臓腑弁証、脾・胃		11	第2章治療各論25)運動麻痺		
	12	第5章弁証論治 臓腑弁証、肺・大腸		12	第2章治療各論27)高血圧・低血圧		
	13	第5章弁証論治 臓腑弁証、腎・膀胱		13	第2章治療各論28)食欲不振		
	14	第2章治療各論 1)頭痛		14	第2章治療各論31)のぼせと冷え		
15	第2章治療各論 1)頭痛		15	第2章治療各論32)不眠			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	前期試験(50%)、期末試験(50%)により評価します。			実務経歴	臨床経験33年 所属学会:日本鍼灸学会、日本体力医学会、全日本鍼灸マッサージ師会所属、災害支援、地域介護予防教室に従事		
履修上の注意	東洋医学概論の教科書をしっかりと読み込んでください。また東洋医学臨床論の教科書で復習をすること。			授業時間外の学習	臓腑の生理作用、病理を覚え弁証論治をまとめること		
使用教材	プリントを配布します。			連絡先	事務課をとおして、直接声をかけて下さい。(水曜日のみ)		